

募集『夏のボランティア体験月間』参加者

7月21日から8月31日の夏休みのを中心とした一定の期間、ボランティア活動の入り口として夏のボランティア体験を開催します。福祉施設や地域のサロン、ボランティア団体等の協力のもとボランティア活動を体験できます。自分自身を見つめて活動先を選んでみてはいかがでしょうか？

29年度の体験受け入れ先一覧

◆高齢者施設

- ①いずみの園
- ②いずみの園かきざ
- ③悠久の里
- ④なんくるや
- ⑤望箭荘
- ⑥中津市豊寿園
- ⑦デイサービス三光
- ⑧デイサービス本耶馬溪
- ⑨やすらぎ荘
- ⑩デイサービス耶馬溪
- ⑪デイサービス山国
- ⑫さつき苑

◆児童福祉施設

- ①第二保育所
- ②第三保育所
- ③第五保育所
- ④グレース保育園
- ⑤如水こども園
- ⑥愛光保育園
- ⑦にしきこども園
- ⑧八千代保育園
- ⑨いずみの園児童クラブ
- ピーター・ポール
- ⑩なすな児童クラブ
- ⑪児童クラブまりあ
- ⑫三光児童館

◆障がい者施設

- ①修光園
- ②ややま園
- ③ややま園如水
- ④フロンティアなかつ
- ⑤つくし園
- ⑥もみじ園

◆その他

- ①すすめの家
- ②サロンふれ愛
- ③ふくろうの家
- ④中津プレーパーク
- ⑤ひがたらぼ

《お問い合わせ先》 中津市社会福祉協議会 ボランティア市民活動センター
☎ 23-2095

昨年度活動のようす



昨年度の参加者は、男性30名、女性111名の141人の方が参加しました。

【職業別のまとめ】

【高等学校別のまとめ】

職業別	参加者数 (男性・女性)
小学生	33人 (13・20)
中学生	18人 (5・13)
高校生	83人 (12・71)
大学・短大・専門学校生	6人 (0・5)
社会人	1人 (0・1)
	141人 (30・111)

学校別	参加者数
中津北高等学校	29人
中津南高等学校	26人
中津南高等学校耶馬溪校	9人
中津東高等学校	1人
東九州龍谷高校	10人
柳ヶ浦高等学校	8人
	83人

ボランティア・市民活動情報紙

ぺんぎん



え：よしだみずほ

7月号

No.225

2017年7月10日

《発行》中津市ボランティア・市民活動センター（中津市教育福祉センター内）

〒871-0021 中津市沖代町1-1-11 TEL 23-2095 FAX 24-7682

《ホームページ》http://www.nakatsu-s.or.jp/ E-MAIL volunteer@nakatsu-s.or.jp

サマー活動紹介

三光の魅力を永遠に・・・ 三光観光ボランティアガイドの会



「三光観光ボランティアガイドの会」は、平成20年に結成されました。きっかけは、大分国体で全国からお越しになるお客様に三光の素晴らしさを知ってもらいたいという思いでした。しかし、活動の中で、「三光には素晴らしい歴史や文化がたくさんあるにも関わらず、少子高齢化、核家族化が進みそれが若い世代に語り継がれなくなっている。」ということに気づかれ国体終了後も活動を続けていこうということになりました。現在は、「三光の史跡や八面山などを巡る

観光ガイド」と「地域のサロンや公民館行事等に赴いて三光の歴史や文化を紙芝居にして伝えること」を中心に行なっています。

観光ガイドは県の内外から依頼があり、「三光にはこんな歴史があったんだ」と驚かれる方が多く、また、紙芝居を観た地元の方々からは、「昔聞いたことはある話だけど、すっかり忘れていた」と昔を懐かしむ方も多いようです。

会員のおひとりの中原さんに今後の展望についてお伺いしたところ「今後は会員の若返りを図っていききたい。なぜならこういった歴史や文化は特に若い世代に伝え、若い世代の感性で語り継いでいってもらうことも必要だと考えているからです。そして、これからもたくさん勉強して、聴いてくださる方に詳しく分かりやすく伝えていきたいんです。それがきっかけで三光の歴史や文化に興味を持ってもらえれば最高だと思いますか？」と力強くおっしゃっていました。



《会からのメッセージ》

本会では随時会員の募集を行なっています。三光の歴史や文化にご興味のある方は一緒に活動しませんか？また、観光ガイドや紙芝居の依頼も随時受け付けておりますので、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

《会員数》13名
男性：8名・女性5名
《設立》平成22年4月
《代表》野中 忠昭
《連絡先》43-5495

～あの人のボラとの出会い気になりますか？～

ボランティアの出会い…NO.13

ひがしはま ともこ
東濱 友子さん

出逢いが人の輪 生きがいへ

私は、北の大地に生れ、おせっかいで人なつっこい性格です。主人の実家がある中津を離れ転勤をしながら生活をしてきました。当時、中津で一人暮らしをしていた母が骨折して退院後の母の生活をどうしたら良いか悩んでいた時、住民同士で支え合う住民型有償サービス「沖代どんぐりサービス」を紹介されて吉田日出子代表と出会いました。早速に母の生活をどんぐりサービスの方々に支援していただき、遠く離れた母に対してどんなにありがたかったか、私自身もとても安心して日々の生活が送れ、本当に感謝しても感謝しつくしきれませんでした。

吉田さんの優しさや考え方の偉大さ、これまでの人生で出会った事のない方でした。その後中津に転勤となり、早速、吉田代表がいる「沖代どんぐりサービス」の仲間に入れていただきました。以降、訪問先のお宅での出会いや教えていただくことがとても有難く充実した毎日を送っています。今では、「地域サロンこまどりの家」の代表をしたり、自宅が小学校通学路の横にあるので、共働きの子どもさん達が我が家に寄ってきておやつを食べたり、宿題をしたり、夕飯を一緒に食べたり・・・小さな子ども食堂のようなこともしています。不思議なご縁から始まったボランティア活動を私の生きがいとしてこれからも続けていきたいと思っています。



グループ活動紹介

給食ボランティアグループ

『さくら』

今月のおすすめの一品

柏餅

材 料 (12個分)

- | | |
|-------------|-------------|
| ◆上新粉・・・150g | ◆片栗粉・・・10g |
| ◆白玉粉・・・20g | ◆あんこ・・・240g |
| ◆砂糖・・・60g | ◆柏葉・・・12枚 |
| ◆水・・・200cc | |



手順①

材料①を混ぜ合わせ、蒸し器で（強火）で10分蒸す。蒸し器から出して良くこねる。

手順②

片栗粉を200ccの水で溶いて生地に流し込む。

手順③

片栗粉をひいた板の上で棒状に伸ばし、12等分にし、だ円状に伸ばし、あんこをはさんで柏葉で包む。

手順④

蒸し器（強火）で1分蒸す。

☆☆ 会のみなさんから一言 ☆☆

味や見た目にも喜んでくれるように彩りにも工夫しています。配食時に安否確認もかねて声掛けをしています。「ありがとう、美味しかったよ。」の一言で来月も頑張ろうと思います。



会 員 数 》 12名（女性）
活 動 日 》 第4水曜日・夕食配食
活動場所 》 大貞公園集会所
対象場所 》 大貞公園
コスチューム 》 おそろいのピンクの帽子

祝 『四ッ葉の会』25周年

『四ッ葉の会』は、もったいない精神をきっかけに平成5年結成した団体です。発足当時は、リサイクルの意識がまだ低く「再生資源を集め、何か人の役に立ちたい。」と、考えて活動を始めました。その間に回収したアルミ缶は、約50tです。市内の福祉施設等に卓球台や電動ベット、車いすを寄贈したり、精神障がい者の方とのボーリングやお楽しみ会を行い交流会を続けてきました。また、「かまぼこ板の絵展覧会」を2002年から10年間開催し、県内外からの1200点の応募がありました。毎年テーマを決めてかまぼこ板に絵を描き東日本大震災が起こった年は被災者へ応援メッセージを送ったそうです。

記念の会では、最後に池口澄子代表が、「切りの良いところで後5年間続けましょうか？」と話すと、会員全員が満場一致で拍手と共に「頑張ろう!」、「後だったの5年よね!!」と、5年後の30周年を目標に地域の方々に貢献できるように活動を続けていくと決意をされていました。

今回、25周年記念として、中津市に車いす自転車を送る予定だそうです。



中津市給食ボラ37団体・120名集合!!

食品衛生研修会&中津市高齢者給食ボランティア総会開催

5月22日（月）29年度の中津市給食ボランティア総会と研修会が開催されました。

中津市老人給食サービスは、平成3年に始まり、毎年総会時に食中毒に関する研修会を行っています。

協議会の原田会長は、「これまでのボランティア活動の中で、食中毒も起こすこともなく一人暮らしの高齢者の皆さんに手作りのお弁当を届ける事が出来ました。それは、会員の皆さんお一人お一人が衛生に気を付けたり、健康に留意して活動を続けてこられたお蔭だと思います。今後も地域でのボランティア活動を続け、人と人とのつながりを大事にした活動を継続していきたいと思っています。また、高齢化が進んでいるので新たなボランティアさんがが必要です。私達と一緒にお弁当作りをする方を募集しましょう。」と、話していました。



地域サロン「小楠こまどりの家」3周年



6月10日（土）、地域サロン「小楠こまどりの家」が3周年を迎えました。「こまどりの家」は、毎週土曜日に開催しており、子どもからお年寄りまで地域のさまざまな世代の方が気軽に楽しく集まれるサロンになっています。

3周年を迎えたこの日は、40人の方々が集まりみんなで一緒にお祝いをしました。赤飯や煮物、酢の物、フルーツなどが盛りだくさんに入った手作りのお弁当に舌鼓を打ち、午後は、金融広報アドバイザーの矢野先生をお迎えし、相続・遺言・老後のお金の話を皆で聞きました。今後、地域サロン「小楠こまどりの家」が5年、10年と続いていく事と各地域でのサロンの必要性をととても強く感じました。